

諸 派
(日本共産党)

石田 秀三 議員

生活保護行政について

(質問) 生活保護の申請者にとって一番の壁になるのが「扶養照会」である。2021年に厚生労働省は、「要保護者が扶養照会を拒む場合や、親族が扶養できないことが明らかな場合は照会しなくてもよい。」と通知している。申請者の意向を尊重した窓口対応をされたい。

(答弁) 扶養義務者による扶養は、生活保護の前提要件ではなく、厚生労働省通知により調査を行わないケースも示されている。本市では、扶養義務調査が原因で市民が申請をためらうことのないよう配慮している。

その他の質問 ○エアコン設置・更新への助成を



無 所 属

矢田 真佐美 議員

人生100年時代の健康づくり

(質問) ①スマートフォンなどの端末に触れる機会の増加による成長途上のこどもの視力低下の現況と対策は。②健康寿命を延ばす策として、特に女性の骨や歯に対する施策はあるか。

(答弁) ①乳児家庭全戸訪問や定期健診などで端末に頼らない子育てや接し方を啓発し、健診での早期発見に努める。全国に比べ視力低下の割合は低いですが、学校でも適正な端末使用を推進する。②歯周病検診の対象拡充と骨密度測定会や教室など骨粗しょう症予防に取り組む。

その他の質問 ○鈴鹿市のDX推進
○休日の保育利用



諸派(公明党)

船間 涼子 議員

こどもと若者のウェルビーイング

(質問) こどもたちが未来を切り開く力となる新たな価値創造の取り組みが必要であり①探究学習②不登校児童生徒の対応③夜間中学・学びの多様化学校についての教育委員会の見解を伺う。

(答弁) ①今後の教育施策を検討する中で探求的な学習の有用性を十分に勘案し、導入の可能性を検討する。②学校、教育委員会、関係機関などが連携し、多面的な支援体制の充実を図る。③個々の状況に応じた支援ができるよう設計や準備がされている。本市からも教員派遣を検討するなど、今後も不登校支援の充実に努めていきたい。



新 緑 風 会

山中 智博 議員

戦後80年と記憶の継承について

(質問) 「軍都」として誕生した本市の歩みをあらためて検証し、戦争の記憶を未来に継承する取り組みが必要ではないか。

(答弁) 令和6年度から郷土資料室の資料をデジタル化しパソコンで検索・閲覧できるデジタルアーカイブ化に取り組んでおり、戦争関連の資料にも令和7年度から取り掛かる。本市では戦後40年の昭和60年に「非核平和都市宣言」を行い、毎夏には啓発イベント「平和への祈り展」を開催している。本展を記念事業として内容を拡充し、鈴鹿にも戦争があったことを語り継ぎ発信していく。



新 緑 風 会

水谷 進 議員

住宅の耐震化について

(質問) 市民への住宅耐震化に向けた働きかけについて。

(答弁) 南海トラフ地震臨時情報の発表により、耐震化への関心が高まっている。この機会を捉え、無料耐震診断を受けていない方や、すでに耐震診断を受けたものの、耐震改修が未実施の方に対しては、ダイレクトメールなどにより直接的に普及啓発を行う。また、耐震補強工事における「簡易で低コスト」な工法の普及をさらに図ることにより、市民の負担軽減につながる環境を整備していく。

その他の質問 ○鈴鹿シティマラソン



新 緑 風 会

大杉 吉包 議員

下水道事業について

(質問) 公共下水事業については、令和9年度以降は未普及解消の新設事業から維持管理事業へ移行することになる。令和7年1月28日、埼玉県八潮市において下水道管の破損による事故が発生したが、本市の公共下水道は大丈夫か。

(答弁) 市内で最大の口径2,000ミリメートルの下水管を、管理者である県が自主点検した結果、異常はないとの回答を受けている。それ以外は、本市がカメラによる調査を実施したが、緊急対応するような結果はなかった。

その他の質問 ○農地に設置する太陽光発電設備

